

### 松山議員

#### 「勝山市の防災関係」について

問①自主防災組織の適正な活動の促進、防災士相互の情報共有の共有化、防災に対する意識向上を図ることを目的とする防災士会組織の創設を早急にすべき。

②防災士としてのスキルアップを図るための、防災に関する講演研修会、実施訓練等ができる体制を早急に整えて行くべき。

③家の中の危険箇所を家族が話し合い、危険防止策につなげる図上訓練「家庭内DIG」を取り入れてはどうか。

答①②県内には唯一「福井県防災士会」があるが、会員登録は1割程度と低く、市内では数名程度。組織への参画の推進と、勝山の地域性に合った活動や研修会を提供できるようなネットワークの構築に努める。

③市内各小学校で防災教室を行っており、家に帰ってから家族で危険箇所などを話し合うことを伝えている。これは「家庭内DIG」と同様の考え方であり、今後啓発に取り組んでいく。

その他の質問  
・環境自治体会議かつやま会議について  
・発達障がいへの支援について

#### フィルムコミッションについて

問勝山市の素晴らしい風景やまちの魅力などを活かし、映画、テレビ、CMなどのロケ撮影場所誘致と撮影隊支援など映像制作のサポートを通じて、地域の経済・観光振興に大きな効果が期待できるフィルムコミッションの設立を提案する。

答市内には、映画等のロケ地として魅力的な場所があり、今後、ロケーション適地として情報発信する必要があるので、フィルムコミッション設立に向けて、市民団体、関係機関等に呼びかけていきたい。



映画撮影風景

### 丸山議員

#### 通学路の交通事故を含む安全対策について

問集団登校中の小学生の列に、自動車が出っ込む事故が、京都府亀岡市、千葉県館山市、愛知県岡崎市と相次いで起きた。文科省では、その対策として各小学校に通学路などの巡回パトロールや危険箇所の監視などを行う「スクールガード・リーダー」を全国に展開しているが、勝山市の対応はどうか。

答5月に各学校の通学路の再点検を行うと共に、児童・生徒や保護者への注意喚起を行い安全な登下校の再指導を行った。また勝山市では市民の皆様のご協力による登下校の見守り活動も続けられており、今後、関係者のご意見もいただきながら、通学路の安全確保に努める。

元町3丁目の側溝については、今年度測量調査を行い、今後の対応を考えていく。

その他の質問  
・中央公園の再整備計画について  
・指定管理者制度について  
・市長・議長の訪中について

#### まちなか誘客について

問元禄一番街繁栄会では、毎年5月の連休を中心に催し物を開催し賑わいを創出している。今年は環境自治体会議に合わせ、本町商店街の皆さん方と協力し繁栄を図った。行政側もいろいろ支援しているが、まちなか誘客に成果が出ていないのが現状だと思われるため、サンプラザ前から元禄線を経て勝山橋のたもとまでの歩道に藤棚を作り、訪れた人達の目を楽しませ、勝山の観光の目玉にするのはどうか。

答藤棚については、降雪時や日常の維持管理など種々の課題があり、また大蓮寺川地下放水路の工事への影響など、十分検討する必要がある。

まちなか誘客については、地道な努力・継続を要するため、行政と住民がお互いに協力・連携し盛り上げていきたい。

